

第54回政治センター拡大幹事会を開催 - 「徳永 エリ」氏の推薦決定！ -

連合北海道は、3月2日、ホテルポールスター札幌において第54回政治センター拡大幹事会を開催し、「第26回参議院選挙の基本方針」を確認するとともに、北海道選挙区候補予定者の第一次推薦として「徳永エリ」氏を決定し、推薦状を交付した。

冒頭、杉山会長からは「参議院選挙を取り組む上で、連合北海道の組織的な課題として、国民民主党候補と立憲民主党候補2名、合わせて3名の推薦については、連合の力が分散し、連合としての総力が発揮できなくなる。連合として力を発揮するためには、立憲1、国民1での対応とならざるを得ない。立憲民主党道連からは、参議院選挙まで時間が限られてきていることから、連合北海道には6年前の経緯や選挙戦を通じて、連合内でも浸透している徳永参議員を今回の参議院選挙においても支援をお願いするとの要請があった。この要請に対し連合北海道としては、なんとでも参議院で『ねじれ』をつくり、自民党一強政治を転換する足掛かりを作る重要性、更には、徳永参議員は連合北海道国会議員団の会長



であること、また、現在、連合本部をはじめ、日本のジェンダー平等が求められている中、世界における日本のジェンダーギャップ指数の是正をはじめ、日本の国会議員における女性の割合の改善からも、現職である徳永参議員の当選に向け取り組むことは妥当であるとの判断から、立憲民主党道連の要請を受け止め、2月25日開催した第4回執行委員会で確認し、

本日、政治センター拡大幹事会において徳永エリ参議員を北海道選挙区における連合北海道としての第一次推薦候補者として決定して参りたい。」と挨拶がされた。



徳永エリ氏からは推薦状交付後「第26回参議院選挙に3期目の挑戦をすることを決意し、本日、連合北海道から推薦いただいたこと、大変心強く思っています。今回の選挙は参議院野党第一党、立憲民主党の存亡をかけた戦いであります。自民党一強政治を打破するため厳しい道のりかもしれませんが野党の大きな塊つくる必要があります。その仕事を是非やらせていただきたい。そして、経済・雇用・食料、また温暖化など安全保障の問題に取り組み、次世代にツケをまわさず、未来に安心を繋いでいく必要があります、連合北海道の皆さんと一緒に取り

組んでいきます。」と決意の挨拶がされた。